

# 相愛中学校 相愛高等学校

平成25年度

## 保護者対象人権教育講演会

謹啓 初夏の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素は本校の教育方針にご理解とご協力をたまわり、厚く御礼申し上げます。

さて、来る5月25日（土）保護者会にあわせて人権教育講演会を開催いたします。

講演内容はどんな重い障害を持っていても『我が子』というのは、愛おしくかけがえない宝物。  
「心臓発作でいつ亡くなるかわからない」と残酷な告知を受けた娘とともに歩んだ8年間。

いのちの大切さ、生命の神秘、感謝の心。ご参加の皆様の温かな心に届けば幸いに存じます。  
多くの保護者の皆様のご参加をお待ちいたしております。 合掌

学校長 安井 大悟

### テーマ：『生きている』幸せを感じて ～奇跡の生命と共に生きた8年8ヶ月～

どうし まゆみ  
道志 真弓 先生

前 熊本市民人権教育講師  
ナレーター・元フリーアナウンサー

#### ■プロフィール

1965年生まれ 富山県出身  
ナレーター、話し方教室講師、司会業  
2006～2007年 熊本朝日放送「くまもと家族日記」ナビゲーター  
2007～2011年 熊本市人権教育講師  
2009～2010年 情報誌「デリすば」料理コラムニスト（超簡単レシピ）  
2011年4月～ 活動拠点を大阪に移す

#### ■著書

##### 『笑顔の戦士』

はなせない、歩けない、泣くことすら命にかかわる。  
世界にわずか30数例しかない“14トリソミー”で生まれた娘・弓華。  
生まれて来られたことだけでも奇跡的なこと。  
天からの贈り物とすごした時間は、  
あたりまえに幸福でとても密度の高いものだった。



#### ■講演内容

幼児虐待やいじめ、若者の自殺が後を絶たない社会に向かって『いのちの重さ』を訴え続ける。  
『一人でも多くの方が生きていることを幸せだと感じてほしい。それが私と弓華が伝えたいことです。』  
不妊治療を続けてやっとできた赤ちゃんだった弓華ちゃんに医師から告げられた、「14トリソミー」という世界でも30数例しかない染色体異常の病気。天国から地獄へ突き落とされたとき、「もし流産してたらきっと顔がみ  
たかったと後悔しているはず。だったら今がいいんちゃう。」というご主人の言葉に泣くのをやめ、「一日、一  
日生きていることに感謝し、できることは何だってしてあげよう」と決心した。それから8年8ヶ月は全力疾走で前  
向きに生きられた。最後にかけて言葉は「ゆみちゃん、ありがとう。」

日時 平成25年5月25日（土） 14:30～15:30

会場 相愛学園本町学舎講堂

主催 相愛中学校高等学校人権教育委員会 後援 育友会